

2017（平成 29）年度報告

地域と連携した取組み等【本学の活動事例】

<対象>	<活動事例>
1. 小学校・中学校	スクールサポート、キッズ・ユニバーシティ・おやま
2. 高等学校、大学	高大連携、大学見学、出張講義、高校主催進学ガイダンス、 高校教員対象入試説明会、大学コンソーシアムとちぎ
3. 講座、共同事業	市民開放講座、公開講座、出前講座
4. 教員免許状関係	免許法認定講習、教員免許状更新講習
5. その他	講師派遣、部活動の取組み、ボランティア活動



白鷗大学

1. 小学校・中学校

活動	提携先	学校種	支援内容
スクールサポート 児童生徒への学習・部活動支援	小山市、下野市、古河市、結城市、 （教育委員会） 小山市 ・2006年度支援開始 ・2007年度協定締結 下野市・古河市 ・2009年度協定締結 結城市 ・2015年度協定締結	小学校、中学校	・国語、算数、数学、理科、社会、英語（HLT, ALT のアシスタント）の学習支援 ・基礎、基本的学習内容の個別指導 ・図工、家庭科、体育、音楽等における実技指導の補助 ・特別支援学級における生活・学習支援 ・部活動支援（陸上、バスケットボール、サッカー等） ・放課後子ども教室の学習サポート ・業間休み、休み時間における児童生徒とのふれあい等
		適応指導教室	「アルカディア」（小山市）、「スマイル教室」（下野市）、「教育支援センター」（古河市）、「フレンドゆうの木」（結城市） ・学習支援や諸活動における補助
		外国人児童生徒適応指導教室	「かけはし」（小山市） ・外国から来日したばかりの児童生徒への日本語指導や生活適応指導

参加学生の延べ人数と支援学校数（過去4年間）

	2014（平成26）年度		2015（平成27）年度		2016（平成28）年度		2017（平成29）年度	
	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数
栃木県小山市	333人	31	305人	31	270人	33	262人	31
栃木県下野市	38人	14	37人	15	33人	15	56人	14
茨城県古河市	32人	25	23人	11	10人	7	9人	7
茨城県結城市	－	－	－	－	26人	4	30人	5
計	403人	70	365人	57	339人	59	357人	57

活動	提携先	対象	開催内容
キッズ・ユニバーシティ・おやま 小山市の将来を担う子供たちの知的好奇心を刺激し、学問への憧れを抱く学びの機会を提供する。	小山市（教育委員会） 第1回 2012年 7月28日(土) 第2回 2013年 8月4日(日) 第3回 2014年 7月21日(月・祝) 第4回 2015年 10月12日(月・祝) →第4回：台風18号集中豪雨に伴う水害で中止 第5回 2016年 7月18日(月・祝) 第6回 2017年 7月17日(月・祝)	小山市在住 or 市内小学生 6年生対象	小山工業高等専門学校、関東職業能力開発大学校との3校連携実施。 <第1回開講講座>（31名） ①お金って、なあに ②楽しい「心理学」入門 ③科学するところ？ <第2回開講講座>（43名） ①ふうせんたまごを作ろう ②ダンス ③生活と税金（消費税） <第3回開講講座>（45名） ①レクリエーション実技 ②心理学入門 ③哲学入門

		<第 5 回開講講座> (12 名) ①カウンセリング入門！ ②まちをデザインする ③ニュースポーツ <第 6 回開講講座> (28 名) ①法学入門 ～「六法全書」の中をのぞいてみよう！～ ②面白いクモの生態 ③経営学入門—会社について学ぼう—
--	--	--

2. 高等学校、大学

活動	対象校	提携の形態	協定内容・実績
高大連携	白鷗大学足利 高等学校	大学＝高校	英語と教育学部の一部科目。 高校生は特別聴講生として受講 (単位取得可)
<目的> 相互に連携し、交流を深めることにより、両校における教育内容の充実と学生および生徒の資質向上を図る。	小山南高等学校 * 2012(H24)年度より (平成 26・27 年度 実施無)	教育学部＝高校	小山南高校： 栃木県内唯一のスポーツ科を設置。 →専門的な学習・活動のために白鷗大学スタッフの協力体制を要望。 ・大学生による授業、部活動支援などスクールサポート事業、 ・高校による教育実習の受け入れ協力など、さまざまな交流を行う。
	小山城南高等学校 * 2013(H25)年度より	教育学部＝高校	1. 白鷗大生によるスクールサポート 2. 城南高校による白鷗大生の教育実習への協力 3. その他、双方が協議し同意した事項
大学見学	県内外の高等学校		H29：8 校
出張講義	県内外の高等学校	教員	昨年度実績(H29)：13 校 17 講義
高校主催進学ガイダンス	県内外の高等学校	教員、職員	昨年度実績(H29)：57 校 * 業者主催の会場ガイダンスを除く
高校教員対象 ／入試説明会	他県を含む高等学校	<主な参加者> 進路指導主事 3 学年担任教諭	近隣県、栃木県南・県北の高等学校の先生方が出席しやすい環境を整えるため、国際医療福祉大学と共催実施。 ① 白鷗大学開催 (H29.6.15 実施) ：62 校・67 名の先生が参加 栃木県 46 名、茨城県 12 名、福島県 7 名、宮城県 1 名、埼玉県 1 名 ② 国際医療福祉大学開催 (H29.8.2 実施)
大学コンソーシアム とちぎ * 平成 17 年 4 月に結成	栃木県内 19 の 高等教育機関	協同体	特色のある栃木県下の高等教育機関が連携することで、大学の特色を一層発展させるとともに、各大学の教育・研究の充実・発展に寄与する。また大学が持つ多様な知的資源を有効に活用し、県・自治体及び産業界のみならず、広く県民と連携し、地域の活性化につなげ、魅力ある栃木県づくりに貢献する。

● 高大連携：鹿沼高等学校 H29 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① スポーツ交流	バスケットボール部員	本学女子バスケットボール部との練習・試合等
② サポート	2 年生	課題解決型学習プログラム「クリエイティブフォーラム」の支援（発表会に向けたアドバイスを本学学生が行った）
③ サポート	2 年生	課題解決型学習プログラム「クリエイティブフォーラム」発表会（前回支援を行った本学教員が発表会にコメンテーターとして参加）
④ 講演会	1 年生保護者	「心の回復力（レジリエンス）を培うために必要な家庭教育について」
⑤ 講演会	1～3 年生全員	主権者教育について

● 高大連携：小山南高等学校 H29 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① 講演会	1～3 年生全員	高校生のための国際理解講座

● 高大連携：小山城南高等学校 H29 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① ピアサポート	3 年生国語研究の受講生	人との関わり方に関するピアカウンセリング 講師の講義と学生による模擬面接 白鷗大学生によるワークショップとロールプレイを実施。
② 講演会	1 年生全員	講演テーマ「よりよいコミュニケーションのために」
③ 学校祭参加	生徒全員	本学よさこい部が小山城南高等学校で演舞を披露。
④ フェスティバル参加	生徒全員	第 2 回白鷗大学スピーチ・フェスティバルに小山城南高等学校生徒が参加し、フランス語や英語でスピーチを行った。
⑤ 講演会	3 年生	国際理解講演会に白鷗大学の留学生 11 名が参加。 言語（ハングル、ポルトガル、中国・台湾、タイ、英語）毎にグループ分けし、「世界の人たちと友達になる」ことを目的に、留学生が講師役となり、高校生に言語や文化を紹介した。

3. 講座、共同事業

名称・目的	開講・募集	内容・開講数・受講者数など
白鷗大学市民開放講座 ・大学の正規授業を広く一般市民に開放。 ・市民に専門的な学習機会を提供する。 ・大学のスクールバスや図書館等の施設利用可。	前期・後期で受講生を募集 ＊結城市は平成 28 年後期から開放開始 共催：小山市教育委員会（生涯学習課） 結城市教育委員会（生涯学習課） 申込：小山市教育委員会 結城市教育委員会 対象：市内在住・勤務通学者	<H29 前期> 103 科目開放 【小山市】41 科目：のべ 72 名 【結城市】4 科目：のべ 4 名 <H29 後期> 106 科目開放 【小山市】36 科目：のべ 66 名 【結城市】3 科目：のべ 3 名

白鷗大学公開講座 前期・後期で 受講生を募集	市民向けに専用講座を 開講 1 講座（全 2 回または 4 回） 申込： 白鷗大学(地域連携サポート センター) 対象： 一般市民・学生	＜H29 前期・開講テーマ＞ 第 1 次世界大戦直後のドイツ の「精神的空気」 （14 名） 日本の治安対策の現在 （9 名） 交通と風土(試論) （5 名） パソコン活用の基礎－ワー ド、エクセルの基礎の基礎－ （6 名） ジブリ映画「もののけ姫」を 日本民俗学的に読み解く （20 名） スポーツと社会について考え る （9 名） ★特別講座★ 「楽しく学ぼう！器械体操」 対象：小学生 （20 名） 「体操場完成記念 子ども体 操教室」 対象：小学生 （23 名）	＜H29 後期・開講テーマ＞ 映画鑑賞をとおして、民法の意 義を考える （7 名） ダウントン・アビーの世界 －英国上流階級の栄華と没落－ （17 名） 身のまわりの犯罪について学ば う （12 名） 特許制度 （10 名） 「人生 100 年時代のライフデザ イン」から「生涯活躍のまち」 構想を考える （17 名） ★特別講座★ 「幼児体操教室」 対象：幼稚園児（年中・年長） A 日程 （5 名） B 日程 （17 名） ★大学院公開講座 全 14 回 （20 名） ①金融政策を考える ②都市とテクノロジーとイノベ ーションと ③交通と風土(試論)－五畿七道 を中心として－ ④ビットコインとフィンテック ⑤財務諸表分析（損益計算書と 貸借対照表） ⑥財務諸表分析（安全性の分析 と収益性の分析） ⑦日本における"企業の社会的 責任"と企業不祥事 ⑧舟の話－大航海時代から北前 船まで－ ⑨事例で学ぶ国際マーケティング入門 ⑩シニア大学院教育(Ⅱ) ⑪データ分析の理論と実践 1 ⑫データ分析の理論と実践 2 ⑬日本経済の現状と課題 ⑭最近の株価と為替の推移
白鷗大学いきいき 公開講座 ＜平成 27 年度から開講＞ ・地域に根ざす大学として、 シニアのために学びの場を 提供	申込：白鷗大学 （地域連携サポート センター） 対象：65 歳以上の方 関心を持つ方は年齢不問	＜H29 夏期＞ パソコンの活用で日常生活を便利に （8 名） 変わりゆく介護保険制度 （26 名） 引退後、どこに住み、どんな暮らしをするか！？ （27 名） そして、どこで永遠に眠るか!？ （12 名） 高齢者と身近な犯罪 （13 名） 地域活性化は可能か？ （7 名） 地域団体商標	

おやま・まちづくり 出前講座	講師等の派遣 主催： 小山市教育委員会 (生涯学習課) 対象： 小山市内在住等の 10人以上団体 会場： 市内の公共施設・自治会 の公民館・企業・個人宅	<H29実績> 6講座開設：のべ609名 出前講座メニュー（11講座） 中学生、高校生のための心理学講座 中学生、高校生のための国際理解講座（500名） 中学生、高校生のための英語上達法 やさしく学ぶ経済学 現在の経営学 身近な法律を考える 世界の文化を学ぶ（20名） 芸術の世界（22名） スポーツ健康の楽しみ（44名） これからの社会の行くえ まちづくりとボランティア（23名）
結城市 白鷗大学公開講座	講師等の派遣 会場： 結城市民情報センター 3階 多目的ホール 昼間開催 14:00～15:30 主催： (公財)結城市文化・ スポーツ振興事業団	<H29実績> 1講座開設：70名 ヨーロッパ世界遺産と歴史の旅

4. 教員免許状関係

(1) 栃木県教育委員会免許法認定講習（栃木県教育委員会事務局 教職員課総務担当）

＜目的等＞

- ・栃木県教育委員会が開設する免許法認定講習
- ・免許法認定講習とは、免許法及び免許法施行規則の規定に基づき開設する講習
- ・栃木県内の教育職員を対象に、上級免許状や他校種免許状の取得に必要な単位の習得の機会を提供し、教育に携わる職員の資質の向上を図る。

●本学／教員派遣、会場貸出

＊本学以外に宇都宮大学でも実施。本学会場実施は平成17年度以降（毎年8月に実施）。

【白鷗大学会場の状況】

- ①平成24年度 8月6日（月）・7日（火）：4科目（本学講師 専任3名＋県外講師1名）
- ②平成25年度 8月6日（火）・7日（水）：3科目（本学講師 専任2名＋本学非常勤講師1名）
- ③平成26年度 8月6日（水）・7日（木）：3科目（本学講師 専任2名＋県外講師1名）
- ④平成27年度 8月10日（月）・11日（火）：4科目（本学講師 専任3名＋県外講師1名）
- ⑤平成28年度 8月8日（月）・9日（火）：3科目（本学講師 専任2名＋県外講師1名）
- ⑥平成29年度 8月7日（月）・8日（火）：3科目（本学講師 専任2名＋県外講師1名）

(2) 白鷗大学／教員免許状更新講習

教員免許状更新講習実施状況

実施年度	講習数計	必修	選択必修	選択	延べ受講者数	定員	備考
平成21年度	14講習	1	—	13	549人	1,170人	更新講習開始
平成22年度	14講習	1	—	13	693人	600人	
平成23年度	18講習	1	—	17	1,419人	940人	
平成24年度	21講習	1	—	20	1,072人	980人	
平成25年度	23講習	1	—	22	1,061人	1,048人	
平成26年度	27講習	1	—	26	1,200人	1,286人	
平成27年度	26講習	1	—	25	1,252人	1,244人	
平成28年度	28講習	1	2	25	1,500人	1,574人	
平成29年度	24講習	1	2	21	1,285人	1,461人	

平成 29 年度 教員免許状更新講習表

講習日	区分	講習名	講師名	受講者数 / 定員	定員充足率
8月 18日(金)	必修	最新の教育事情	小泉祥一/伊勢正明	228 / 250	91.2%
22日(火)	選択必修	学校をめぐる変化と組織的対応	金井 正/荒川麻里	89 / 100	89.0%
	選択必修	教育課程経営の意義と実際（カリキュラム・マネジメントのとりえ方）	小泉祥一	49 / 100	49.0%
	選択必修	教育相談（いじめ・不登校への対応を含む）	伊東孝郎	96 / 100	96.0%
8日(火)	選択	教育データの統計的分析	樋口和彦	28 / 40	70.0%
	選択	ハンドベル体験講座（心に響く音色を求めて）	荒井弘高	47 / 35	134.3%
	選択	小学校英語教育と英語絵本	大木俊英/鈴木宏枝	22 / 40	55.0%
9日(水)	選択	ハンドベル体験講座（心に響く音色を求めて）	荒井弘高	41 / 35	117.1%
	選択	自己理解のための心理学ワークショップ	伊東孝郎	36 / 30	120.0%
	選択	事故と責任（事例研究）－子、親、学校の法的責任と紛争解決について	山城崇夫	87 / 70	124.3%
10日(木)	選択	教育データの統計的分析	樋口和彦	15 / 40	37.5%
	選択	ハンドベル体験講座（心に響く音色を求めて）	荒井弘高	40 / 35	114.3%
	選択	自己理解のための心理学ワークショップ	伊東孝郎	31 / 30	103.3%
	選択	子どものすこやかな体を育てる（身体のこと、健康のこと）	金田健史/荒井信成	114 / 100	114.0%
	選択	異文化理解・国際理解	結城史隆	28 / 30	93.3%
21日(月)	選択	自己理解のための心理学ワークショップ	伊東孝郎	31 / 30	103.3%
	選択	ボランティア教育の実情と課題	川瀬善美	51 / 50	102.0%
23日(水)	選択	Web教材の開発	黒澤和人	18 / 40	45.0%
	選択	小学校体育科の授業作り－器械運動領域に焦点を当てて－	内田雄三	12 / 40	30.0%
24日(木)	選択	全教諭のための英語コミュニケーション力養成	ジェフリー・ミラー	28 / 30	93.3%
	選択	ピアノアンサンブル	今田政成	38 / 48	79.2%
	選択	ボールゲームの系統的な指導のあり方	内田雄三	44 / 40	110.0%
25日(金)	選択	ピアノアンサンブル	今田政成	30 / 48	62.5%
	選択	小学校社会科における地域学習	奥澤信行	19 / 50	38.0%
	選択	発達障害の理解と支援	伊勢正明	63 / 50	126.0%
認定者実数 406名	必修 228	選択必修 234	選択 823	1,285 / 1,461	88.0%

※平成 23 年度～平成 27 年度の必修講座の「学校における危機管理上の課題」の講師派遣は、県教委（教職員課）に依頼しました。

5. その他

(1) 講師派遣件数

派遣年度	H29
計	55
栃木県	35
茨城県	2
東京都	14
北海道	2
宮城県	1
静岡県	1

※栃木県内の派遣先

栃木県教育委員会	1	栃木市役所 こども未来部子育て支援課	1
栃木県警察学校	3	栃木市保育園職員研修会	1
栃木県高等学校体育連盟	1	佐野市小学校教育会体育部会	1
栃木県社会福祉協議会	1	佐野市立下彦間小学校	1
栃木県小学校教育研究会	3	栃木県立真岡高等学校	1
栃木県保育協議会（県南部地区保育協議会）	1	真岡市教育委員会	1
第 77 回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部	3	真岡市立大内中学校	1
小山市役所(こども課)	1	芳賀町教育委員会	1

小山市文化芸術振興審議会	1	芳賀四町教育委員会	1
小山第一小学校	1	那須町こども未来課	1
小山地区特別支援教育研究会	1	宇都宮大学	2
小山市教育研究会	2	白鷗大学足利高等学校	2
足利市教育委員会	1	白鷗大学足利中学校	1

(2) 部活動の取組み

硬式野球部	小学生・中学生を対象とした野球教室を開催している。
陸上競技部（女子駅伝）	毎月2回「土曜マラソン大会」、年3-4回の「白鷗大学記録会」を開催している。 県や地域の陸上協議会、高体連の大会への役員協力などを行っている。
ラグビー部	小学生・中学生を対象とした栃木ラグビースクールを開講中。
ダンス部	地域の子供たちに発達段階にあわせた創作ダンスを指導している。 チアペコ(幼稚園)、プチペコ(小学1,2年)、ペコジュニア(小学3-6年)ペコキッズ(特別支援児)と年齢別チーム編成。1年間の練習成果を12月ダンス発表会で披露。
若者選挙推進部（TEP）	栃木県と連携し、栃木選挙ユースサロン、選挙啓発活動・イベント等に参加している。 また、小山市役所選挙管理委員会と連携し、小中学生の選挙啓発ポスターの審査参加、白鷗祭の協力、選挙啓発活動・イベント等に参加している。 その他、明るい選挙推進協力として、選挙啓発活動・イベント等に参加している。
サッカー部	毎月2回幼稚園でのサッカー教室を開催している。 毎年8月、11月に野木町にて小学生対象のサッカー教室を開催している。
卓球部	県内の高等学校、中学校との練習試合や合同練習を行っている。
ハンドベル部	JR小山駅の中央自由通路「さくら道」開通の周年記念イベント「さくら道まつり」(6月)のコンサートに参加している。また、小山市主催のハンドベルフェスタ in OYAMA (10月)に参加のほか、小山市・小山市文化協会主催の小山市民音楽祭(12月)に参加している。 小山市の市民チームで結成された団体である「ベルのわ」に所属し、関連するハンドベルクリスマスコンサート(12月)にも参加。 5月～11月の毎月第2・4日曜日に親子ベル(市民チーム)の練習のお手伝いをしている。
茶道部	近隣の幼稚園、小学校、中学校、介護施設、養護施設等で茶道体験教室を開催したり、開催のお手伝いをしている。小山市まちの駅思季彩館においても、茶道体験教室を実施した。 また、小山市主催の小山一夜御殿祭やおやま開運まつり等でも野点席を設けた。 その他、NPOと連携し、復興支援プログラムの一環として茶道交流会を行った。
箏曲部	小山近隣の幼稚園や保育園でミニコンサートの開催や、小学校、中学校でお琴の体験会を開いている。 また、インターナショナルフェスティバルでは地域に住む外国の方とお琴の体験を通じて交流している。

(3) ボランティア活動

小山駅東口新駅前広場 美化愛護会	本学の学生会が駅東・駅東通り2丁目の両自治会と協定を結び美化組織を発足。
未来創造ネットワーク白鷗	NPO団体など地域の様々な団体と連携し、ボランティア活動に取り組む団体。
ボランティアグループ 「ひまわり」	犯罪被害支援活動。刑事訴訟法ゼミの学生中心。 小山市や警察署と連携し、犯罪被害者のつどい等でお手伝いをした。